

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 5 - 8

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	予防接種事業							
評価者	担当課名		保健福祉課		担当係名			
	管理職	職名	課長		作成者	職名		
		氏名	葛西隆			氏名	佐々木希美枝	
事業の概要	感染症の流行を防止し町民の健康保持を図ることを目的に、予防接種法に規定される定期予防接種(三種混合他6種)及び感染症対策上有効性が確認されている予防接種(新型インフルエンザ)を実施する。					全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度～ 24 年度)		
						事業費	国・道支出金	千円
						地方債	千円	
						その他	千円	
						一般財源	25,882 千円	
					事業費計	25,882 千円		
実施方法	■ 直 営		民間委託		その他 ()			
第 5 期 総 合 計 画 (前期)			■ 登載事業		非登載事業			
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～						
	基本施策	6 保健・医療の充実						
	単位施策	3 母子保健の充実						
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務				
	その他計画・根拠等	予防接種法						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)		
	国・道支出金	千円	282 千円	千円	千円	千円		
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
	その他財源	388 千円	529 千円	千円	千円	千円		
	雄武町負担額 (一般財源)	3,498 千円	4,396 千円	7,900 千円	4,980 千円	4,827 千円		
	合 計	3,886 千円	5,207 千円	7,900 千円	4,980 千円	4,827 千円		

263

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	予防接種対象となる町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	個人及び地域における感染症の流行を防止する	予防接種実施率			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	予防接種により予防可能な感染症の発症を防止する	① 定期予防接種の平均実施率	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成21年度	
			目標値	80 %	
			実績値	85.6 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	個人及び地域での感染症の流行を防止し健康を保持できる	②	達成度	107.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
予防接種に関する広報	家庭訪問、健診等の機会を通じて予防接種の必要性や受診方法を周知した。				
予防接種実施体制の整備	受診者が安全に受診でき、利便性を考慮して医療機関における個別接種を受けられるよう体制を整備した。				
新型インフルエン					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／課題あり	☒ 義務的なもの	定期予防接種の実施は市町村に実施義務がある。また、新型インフルエンザ予防接種は国が実施主体であるが、地域での大流行を防止するため、市町村においても予防接種が円滑に進むよう協力することが必要であると考え。
	☐ 全部 ☒ 一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況	定期予防接種対象の感染症においては目立った感染症の流行は見られなかった。新型インフルエンザにおいては児童・生徒を中心に感染拡大が認められたが、大きな感染拡大には至らず、事業の有効性を確認することができた。
	☒ 達成 ☐ ほぼ達成 ☐ 下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由	医療機関委託により効率的に実施することができた。
	☐ 事業費抑制 ☐ 人員削減 ☒ 時間短縮・作業軽減 ☐ その他	

(4) 事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由	季節性・新型インフルエンザ予防接種においては受益者負担を求めている。また、予防接種対象者へは広く事業を周知し公平性を確保している。
	☒ 受益者負担がある ☐ 受益者負担がない ☐ 受益が一部に偏る ☒ その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
目標を達成することができ、今後も感染症の流行防止に向けて事業を進めることが重要であると考え。		

今後の展開方向 (Action)			
継続／拡充			
法律改正や新型インフルエンザ等新たな感染症の発生などに対して適切に対応し、地域における感染症の流行を防止するよう事業を実施していく必要がある。			

※展開方向の区分

○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--